

障害者支援施設 ゆめの里

発行日：令和4年5月
第65号

ゆめの里広報誌



祝 開所20年



今後ともよろしくお願い致します



目次:

表紙	1
ご挨拶	2
開所20年サプライズ	3
食のイベント	4
食のイベント写真	5
園芸活動	6
歯科受診、創作活動	7
パンリレー	8

新年度のご挨拶

施設長 中川 勝則

新年度にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当施設も本年3月で20年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の当施設の諸事業に対するご理解とご協力のお陰と厚く御礼を申し上げます。

この20年を振り返ってみますと、平成12年、13年の二か年整備事業としてゆめの里の建設を行いました。当時は厚労省から内示を頂いた後に地域の住民の皆様から建設反対運動が起こり、当初予定していた土地での建設を諦めなくてはならない事態になりました。関係機関と協議を行い、1か月の猶予を得て現在の土地での計画変更を行いました。平成14年に事業を開始してからは、「開かれた施設」を心がけたことにより地域住民の皆様からも事業に対するご理解とご協力を得られるようになりました。

また、制度についても措置制度から支援費制度、障害者自立支援法、そして障害者総合支援法へと目まぐるしく福祉施策が変化いたしました。これは、施設福祉から在宅福祉、更には総合的な地域福祉へと変革がなされたと感じております。このような制度改革に伴い、ゆめの里のみでは地域の様々なニーズへの対応に限界を感じ、平成21年に就労継続支援事業を開始し、また、平成24年にはGHを開設致しました。

「福祉」という言葉は、「福」も「祉」も「幸せ」を表す言葉です。福祉は「人間の人生に関わる業界」であると捉えております。そのためには「一人ひとりの幸せ」を目指すべきだと思っています。私達は「誰のために、何のために自分達が在るのか」を合言葉に、障がいがあるために様々な場面で絶望や挫折感を味わったり、夢の実現が閉ざされてしまっている人達や、人間として普通の暮らしが保障されていない人達に対し、必要なサービスを「事業」として提供することにより、ご利用者が生きがい（やりがい）を見だし、個々の人生を楽しんで頂けるような支援体制を構築していきたいと考えております。

今後も、ご利用者並びにご家族、職員等係るすべての方々のご協力を得て、地域福祉の発展に寄与できるよう、努力精進する所存でございますので、これからも倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





祝 開所20年 永年勤続表彰



～サプライズ 感謝の気持ちを込めて～

生活支援員 岩崎 むつみ

オープニングスタッフとして入社し、勤続20年を迎えました。「福祉の原点は心である。仕事は、どれだけしたかよりどんな心でしたかが大切である」という基本理念のもと、ご利用者の事を第一に考え、他職員と連携を図りフォローし合いながら仕事をしてきました。勤続20年の中で、身も心も疲れ何度もくじけそうになりましたが、そんな時は上司からの労いの言葉や同僚との何気ない会話に笑顔を貰い、家族の支えがあったから続けてこれたと思います。

理事長、施設長を始め、事務長、中川課長は、第一線でゆめの里を引っ張ってきて下さり、一緒になってご利用者の事、業務の事を考えて下さいました。たくさんの感謝の気持ちを込めてサプライズで花束と副施設長よりお礼の言葉を送りました。これまで一緒に仕事をしてきた中で施設を開所しようという熱い思いや施設で過ごすのではなくご利用者の可能性を見出し地域移行を目指した熱い思い、何事にもチャレンジする姿を見る事ができました。これからもゆめの里の一員として業務に励んでいきたいと思ひます。





食のイベント開催！



～満開の桜の下、お食事を楽しみました～



生活支援員 上杉 えりか

今年も桜が綺麗な季節がやってきました。ゆめの里には開設当初に植えた桜の木が立派に育ちゆめの里のお花見を盛り上げてくれます。通所ご利用者のお花見は満開の桜の下、晴天で無事開催する事ができましたが入所ご利用者のお花見開催日はあいにくの雨で、屋外でのお花見提供が中止となりました。ご利用者に少しでもお花見の雰囲気味わってもらえる様にと急遽ホールに大きな桜の木の枝を飾りました。ホールに突如として現れた大きな桜は迫力があり皆さん圧倒され喜ばれていました。また、夜間は桜の木をライトアップし夜桜を楽しめるようにしました。「夜の桜も綺麗だね」とご利用者の方々に大好評でした。

入所ご利用者に対しては後日、桜の木の下での食事を楽しんで頂きたいおやつ時間に屋外でのおやつ提供を行いました。皆さんお饅頭と甘酒を手に笑顔が多く見られました。この日は風があり綺麗な桜吹雪が見られ「まだ少し寒いね」と季節感を味わいながら楽しいひと時を過ごされました。





満開の桜を眺め花見を楽しみました♪





心身の機能回復を図る園芸療法



～ほうれん草、スナップエンドウ豊作～



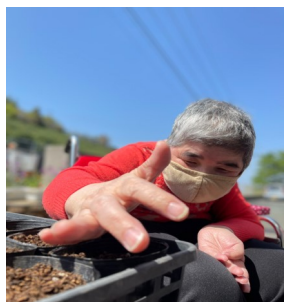
作業療法士 小森田 道行

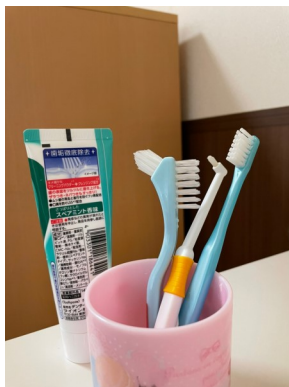
コロナウイルスの影響にて外出などの提供が制限されている中、ゆめの里では園芸療法を通し楽しみの場の提供を行っています。

今回、野菜ではほうれん草やスナップエンドウの収穫作業を行いました。虫食いなどの被害もなく収穫作業を夢中になって取り組まれました。収穫後のご利用者の笑顔がとても素敵でスタッフも癒しの時間となりました。収穫した野菜は昼食時に提供し、採れたての新鮮な野菜を食し「美味しいよ♪もっと食べたい」と喜びの言葉聞かれました。

お花ではゴデチア、ストック、ネモフィラを種から植え付けをしました。寒い時期は成長も遅く「もうダメかなあ」と思う事もありましたが無事開花しお花教室で生け花にしてホールや洗面台に飾り楽しむ事ができました。また4月に入り百日草やアスターに加え去年植え付けし開花したヒマワリの種の植え付け作業を行いました。上手く成長するかわかりませんが今後の生育過程を楽しみたいと思います。

今後も定期的に外に出て四季の移り変わりを感じ、植え付けや水やり、収穫などで体を動かし、また利用者間で共通の話題でコミュニケーションを取る事で心身の機能回復に努めていきたいと思ひます。





お世話になります歯科受診



～お口の中から健康に～

看護課長 石坂 直子



当施設では毎週月曜日に翼ハロー歯科様から往診に来て頂き全利用者対象に診察や口腔ケアの指導を受けています。疾病予防として口腔ケアから歯石除去・虫歯治療や義歯作成など治療内容も幅広く対応されています。

特に歯周病は全身疾患を引き起こすと言われます。

「人生100年時代」と言われる今こそ口腔内トラブルを防止し健康であってほしいと願います。



流行りのキャラクターで創作活動



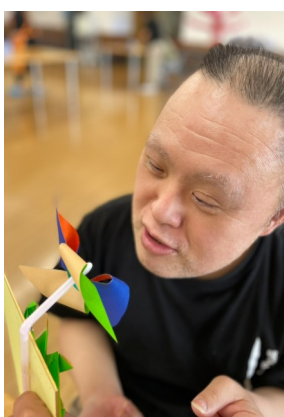
～世界に一つのオリジナル作品完成～

生活支援員 狩野 秀行



ゆめの里では季節に合わせ創作活動を行っています。2月には雛飾り、そして4月下旬には、鬼滅の刃を取り入れた五月飾りの制作を行いました。

人気のあるキャラクターの伊之助と栗花落（つゆり）カナヲに、好きな色のシールで鯉のぼりに鱗を付けたり風車などの季節を感じる飾り付けをされました。細かな作業などもありましたが、スタッフと協力し皆さん頑張って作成されていました。作品が完成すると「かわいいね」といった感想や風車を口で吹いたり、皆さんとても満足された様子でお部屋に持ち帰り飾られていました。まだまだコロナの影響が続き、外出やイベントが少ない中、少しでも季節を感じて頂けたら嬉しいです。



最高の時間を求めて

サービス管理責任者 坂口 祐樹



「パチッ、パチッ、パチン」薪のはぜる音に耳を傾け、揺れ上がる炎を見つめながらお酒を飲む癒しの時間。満点の星空の明かりに映る抱りぬいた道具に囲まれ、非現実的な世界を味わわせてくれるキャンプにハマり5年ほどが経つ。「キャンプ道具なんてなんでもいいでしょ」と非協力的で乗り気でなかった妻も今では購入時の相談役に。良い気候の時は月に一回はキャンプに行くほどになった。近年キャンプブームで次々と新作グッズや情報が更新されている。そうすると余計に欲しい道具は途絶える事を知らず、妻的には悩みの種であるが私的にはそこも楽しみの一つである。

現在はコロナ禍にてなかなか行けない時期ではあるが自宅できる家キャンを楽しんでいる。ギア（道具）のセレクトから準備を含めすべての過程が魅力的なキャンプをこれからも満喫していきたい。

今回のペンリレーは生活支援員の岩崎むつみさんお願いします。



障害者支援施設 ゆめの里

熊本市西区河内町野出3-1

TEL : 096-277-3055
FAX : 096-277-2388

E - mail
cms@yumenosato.or.jp

URL
yumenosato.main.jp

障害者支援施設

ゆめの里

編集後記

コロナウイルスや戦争など暗いニュースが多く、また外出制限もある中、ゆめの里では情報を集めアップデートし、現在の生活スタイルに合わせ感染状況をみながら少しずつではありますが活動の幅を広げています。面会につきましてはまん延防止が解除になり徐々に再開しております。ご希望の方は前日までにご連絡ください。

新年度に入りゆめの里は21年目を迎えました。ゆめの里の歴史を築き上げて下さった方々に感謝をしながら職員一同一丸となってこれからもゆめの里を盛り上げご利用者の笑顔と充実した日々が送れる様支援を行っていききたいと思います。

